

令和3(2021)年度

事業計画書並びに
収支予算書

公益目的事業1

駿府博物館の展覧会事業及び芸術文化の普及事業

A. 展覧会事業

	区分	展覧会名	会期・休館日	入館料	名義(予定)
1	企画展	駿府博物館 開館50周年記念 御宿至彫刻展	4月29日(木)～ 6月27日(日) 〔52日間〕 (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上500円 (中学生以下、障害 者手帳提示の方は 無料)	〔主催〕 静岡新聞社・静岡放送 〔後援〕 静岡県教育委員会、 静岡市教育委員会
2	特別展	駿府博物館 開館50周年記念 名品展(仮)	【前期】 7月24日(土) ～9月19日(日) 【中期】 10月9日(土) ～12月12日(日) 【後期】 2022年1月15日(土) ～3月6日(日) 〔150日間〕 (休館日:月曜日 祝日の場合は開館し、 翌日休館)	高校生以上500円 (中学生以下、障害 者手帳提示の方は 無料)	〔主催〕 静岡新聞社・静岡放送 〔後援〕 静岡県教育委員会、 静岡市教育委員会
3	その他	第45回 静岡県蘇峰会書道展	3月8日(火)～ 3月20日(日) 〔12日間〕 前期:3/8～13 後期:3/15～20 (休館:3/14 展示替)	無料	〔共催〕 蘇峰会、 静岡新聞社・静岡放送 〔後援〕 静岡県、 静岡県教育委員会、 静岡市、 静岡市教育委員会、 静岡県書道連盟

B. 芸術文化の普及事業

①講演会、ワークショップ、デモンストレーション、ギャラリートーク

1. 御宿至氏のご招待客を中心とした内覧会・開会式 …開催予定
御宿氏本人による特別ギャラリートーク …1回開催予定
安部龍太郎氏(直木賞作家/御宿氏ご友人)による講演 …1回開催予定(静岡新聞社 SBS 学苑協力)
2. 金原宏行氏(当館図録解説者)等による、ご来館者(外部のお客様、当館職員、静岡新聞 SBS 本社職員等)が、駿府博物館の所有するコレクションの知見を深めることを目的とした「駿府博物館開館 50 周年記念図録」をベースとする特別ギャラリートーク
…各 1 回開催予定

※上記数字は「A. 展覧会事業」に対応。2020 年度の時点で決定しているイベント。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況や社会的影響が懸念されるため、その都度様子を見極めつつ実施を検討する。

②広報その他(展覧会事業及び芸術文化の普及事業に関連した印刷物の作成)

展覧会目録の発行

- (1) 1,000 部予定(無料配布)
- (2) 3,000 部予定(無料配布)
- (3) 500 部予定(無料配布) ※蘇峰会作成

※上記 1～3 は「A. 展覧会事業」に対応。

③短期歴史講座

第 18 回駿府博物館短期歴史講座

「静岡ゆかりの近現代日本の先駆者 vol. II」(全 4 回予定)

- 主 催 駿府博物館(公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)
- 協 力 静岡県近代史研究会
- 会 場 静岡 新聞放送会館 4 階会議室(静岡市駿河区登呂 3-1-1) 予定
- 受 講 料 一般 5,000 円、大学生・大学院生 3,000 円、高校生 2,000 円
(全 4 回分、資料代含む)
単発受講は検討中
- 募集人数 35 名程度
- 企画内容 本年度のテーマ「静岡ゆかりの近現代日本の先駆者 vol. II」では近代静岡を築くことに尽力した人々にスポットを当て、偉人達の努力や生い立ちに迫る。テレビドラマで関心を集める渋沢栄一と静岡県の関係を示すほか、県民にとって知っておきたい人物を発掘し、独自の視点で紹介する。
- 開催予定 令和 3 年 10 月～11 月

公益目的事業2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への支援

社会福祉事業「愛の都市訪問—コロナ禍特別支援」を実施する。県民の皆さまから寄せられた寄付金で物品等を購入し寄贈する。寄贈先は県内から公募し、有識者による選考委員会で審査の上決定する。

1. 募 金 告 知 年間を通して財団 Web サイトと静岡新聞及び静岡放送等で広く呼びかける。
2. 募 金 受 付 年間を通して財団、静岡新聞社・静岡放送東部総局、浜松総局、県内各支局で受け付ける。
3. 支 援 対 象 コロナ禍で活動に支障をきたしている社会福祉団体・施設や NPO 法人、ボランティア団体等で以下の条件を満たすものとする。

【条件】

- a. 活動や事業内容が福祉に関するものである事
 - b. 活動期間が1年以上継続されている事
 - c. 過去に愛の都市訪問で、寄贈を受けていない、または受けてから5年以上経過している事
※個人、反社会的組織や営利団体が母体の団体は対象外とする。
4. 支 援 内 容 支援対象団体が希望する物品(車両・資機材・医療資器材・食料等)を年3回寄贈する。購入金の補助はしない。
新型コロナウイルスが蔓延するなか、活動に支障をきたしている県内の施設・団体が必要とする物品
 5. 支 援 先 募 集 財団 Web サイトと静岡新聞及び静岡放送を通じて県内から広く公募する。
 6. 説 明 会 支援を希望する団体・関係者に向け、事業の趣旨や申請対象品、申請書の記入方法等についての説明会を開催する。
 7. 応 募 方 法 規定の応募用紙に必要事項を記入して、財団事務局へ郵送する。応募用紙は説明会で手渡す
 8. 応 募 締 切 年3回
 9. 選 考 学識経験者等で構成する選考委員会で決定する。
 10. 通 知 応募者すべてに内定・落選の通知を送付する。
 11. 発 表 財団 w e b サイトと静岡新聞紙上で発表する。
 12. 寄 贈 令和3年6月、10月、令和4年2月

B. 災害救援活動への助成支援

国内外の大規模災害に対して県内から募金を受け付け、日本赤十字社を通じて、被災者へ募金を送る。

1. 実施の判断
 - a. 日本赤十字社静岡支部に義援金受付窓口が開設される事が確実なこと
 - b. 広域に及んでいるか、激甚災害指定等災害規模を勘案し判断する
 - c. 静岡新聞社・静岡放送との共催が決定した時
2. 実施の決定 財団代表理事と相談の上、実地の可否を決定する。
3. 告知 財団webサイト、静岡新聞紙上、静岡放送を通じて募金を呼びかける。
4. 支援方法 募金を取りまとめ日本赤十字社静岡県支部に全額寄付する。

※ 物資の取り扱いは行わない。

公益目的事業 3

地域のために献身的な活動を続ける個人及び団体の表彰

表彰制度「ふるさと貢献賞」を実施する。

地域のために献身的な活動を続ける個人・団体を顕彰、褒章する。

1. 目的 地域生活の模範となる行為を長年にわたり率先して続けている人々の事績を称える事により、明るく住みよい社会作りに資することを目的とする。
2. 表彰対象 長年にわたり他の模範として推奨に値する献身的な活動を続けている学校・自治会・個人・団体・企業
【活動例】
 - 施設慰問、介護支援などの福祉活動
 - 公共施設・道路などの美化、清掃、自然保護などの環境保全活動
 - 交通安全、犯罪防止、児童生徒への校外教育・指導などの地域貢献活動
 - 地域社会や公共施設に著しく功績があると認められる活動
 - 国際的な交流による地域活性活動
 - 障がい者の自立支援や自己実現、文化芸術活動などを支える活動
 - 障がい者と健常者が特別な区別なく社会生活や企業活動を共にする活動
3. 募集対象 活動地域が県内であること
居住地、職業、性別は問わない。
※以下に該当する場合は応募できない。
 - a. 当該行為が名誉・金銭・経済的利益を優先するものである場合
 - b. 当該行為が個人または団体の売名・宣伝等を目的とするものである場合
 - c. 過去5年以内に本賞を受けている場合
4. 募集告知 4月から財団webサイトや静岡新聞紙上等を通じて県民に呼びかけを行う。また関係機関への通達を行う。

5. 応募方法 推薦方式とする。推薦人が規定の推薦書に必要事項を記入し、財団事務局へ郵送する。自薦・他薦は問わない。
6. 応募締切 個人、団体・自治会・企業 8月上旬（予定）
学校 9月上旬（予定）
7. 選考 10月（予定）に学識経験者で構成する選考委員会で審査の上決定する。
8. 通知 推薦者すべてに内定・落選の通知を送付する。
9. 発表 令和3年11月（予定）に財団w e bサイトと静岡新聞紙上で発表する。
10. 表彰 令和3年12月（予定）に表彰式を行う。
賞状、楯、記念品等を授与する。

収益事業

A. 図録などの販売

展覧会事業において、展覧会図録、はがき、書籍等の関連商品の販売を行う。

B. その他

希望に応じて所蔵品の貸与、図版の印刷物への提供等を行う。